

2010 年度

# 環境活動レポート

(平成 22 年 5 月～平成 23 年 4 月)

作成日：2011 年 5 月 20 日



株式会社 **西村工務店**

## 1. 環境方針

株式会社 西村工務店 環境方針

当社は経営理念『快適で安心していただける環境づくり』のため、地球環境問題と事業の発展を調和させて持続可能な建設活動に努めます。

1. 建設工事に伴う環境負荷の低減に努めます。
2. 建設廃棄物を低減するためのリサイクル活動を推進します。
3. 関係する環境法規及び地元との協定を遵守します。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。

2008年8月18日

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

## 2. 事業所の概要

### (1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 西村工務店  
代表取締役 西村 昌樹

### (2) 所在地

〔 本社 〕 兵庫県美方郡香美町村岡区福岡 17 番地  
〔 森脇倉庫 〕 兵庫県美方郡香美町村岡区森脇 192 番地

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 加藤 一郎  
EA21 事務局 亀村 里美  
連絡先 電話 0796-96-1136 F A X 0796-96-0832

### (4) 事業活動内容

建築工事業、土木工事業

### (5) 事業規模

年間売上高 8 億 2 千万円 (2010/25 期)  
従業員数 17 人  
床面積 1937.96 m<sup>2</sup>

### (6) 建設現場等の概要 (2010 年度)

建築工事 185 件  
土木工事 84 件

### 3. 環境目標とその実績

当社における環境目標と実績は以下の通りです。

No.	環境目標	基準年度 (2009年度実績) 2009.5~2010.4	2010年度		2011年度 計画	2012年度 計画
			通期計画(5月~4月)			
			通期実績(5月~4月)			
1-1	二酸化炭素排出量削減 (電力使用量の削減)	29,391kWh/年	28,400kWh		28,200kWh/年 ( '09年度比 4%減)	28,000kWh/年 ( '09年度比 5%減)
			29,943kWh			
1-2	二酸化炭素排出量削減 (ガソリン車両燃費の向上)	13.35 km/ℓ	向上達成率 50%以上		向上達成率 55.0%以上 (前年度同月比)	向上達成率 60.0%以上 (前年度同月比)
			46.7%			
1-3	二酸化炭素排出量削減 (軽油車両燃費の向上)	9.26 km/ℓ	向上達成率 50%以上		向上達成率 55.0%以上 (前年度同月比)	向上達成率 60.0%以上 (前年度同月比)
			77.9%			
2-1	廃棄物排出量削減 (紙資源使用量の削減)	63,500枚/年	61,600枚		61,000枚 ( '09年度比 4%減)	60,300枚 ( '09年度比 5%減)
			76,000枚			
2-2	廃棄物排出量削減 (ダンボールのリサイクル化)	11.88m <sup>3</sup> /年	12.5m <sup>3</sup>		年間 13.0m <sup>3</sup> 以上	年間 13.5m <sup>3</sup> 以上
			3.56m <sup>3</sup>			
2-3	廃棄物排出量削減 (ペットボトルのリサイクル化)	1m <sup>3</sup> /年	2m <sup>3</sup>		年間 2.5m <sup>3</sup> 以上	年間 3.0m <sup>3</sup> 以上
			2m <sup>3</sup>			
3	総排水量削減	170m <sup>3</sup> /年	165m <sup>3</sup>		163m <sup>3</sup> ( '09年度比 4%減)	161m <sup>3</sup> ( '09年度比 5%減)
			136m <sup>3</sup>			

### 4. 主要な環境活動計画の内容と達成状況

No.	環境目標	環境活動計画の概要	達成状況 (22/5~23/4)	評価
1-1	電力使用量の削減	・冷暖房の設定温度の励行 ・不在不用箇所の消灯徹底 ・パソコンの省電力モード活用	目標：28,400kWh 実績：29,943kWh 削減状況：105.4% ×	未達成 (5.4%悪化)
1-2	ガソリン車両燃費の向上	・車間距離を適度にあげ、 急発進・急減速をさける。 ・無駄なアイドリングストップ	目標：50%以上 実績：46.7% 達成状況：-3.3% ×	未達成 (-3.3%悪化)
1-3	軽油車両燃費の向上	・車間距離を適度にあげ、 急発進・急減速をさける。 ・無駄なアイドリングストップ	目標：50%以上 実績：77.9% 達成状況：+27.9% ○	達成 (+27.9%削減)

2-1	紙資源使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>両面コピーの使用</li> <li>コピー用紙の裏面再利用</li> <li>電子メディアの利用によるペーパーレス化</li> </ul>	目標：61,600 枚 実績：76,000 枚 削減状況：123.3 % ×	未達成 (23.3%悪化)
2-2	ダンボールのリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間2回実施されるリサイクル活動へ搬出</li> </ul>	目標：12.5 m <sup>3</sup> 実績：3.56 m <sup>3</sup> 達成状況：28.5% ×	未達成 (28.5%未達成)
2-3	ペットボトルのリサイクル	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間2回に分けてリサイクル</li> </ul>	目標：2.0 m <sup>3</sup> 実績：2.0 m <sup>3</sup> 達成状況：100% ○	達成 (100%達成)
3	総排水量削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>全社員に節水意識を浸透</li> </ul>	目標：165 m <sup>3</sup> 実績：136 m <sup>3</sup> 削減状況：82.4% ○	達成 (17.6%削減)

## 5. 環境活動の取組結果の評価

エコアクション取得後約2年が経過した。

電力使用量の削減においては、昨冬より、薪ストーブの導入を行い、木材加工時に排出される端材を使用することで、ゴミの削減と電力の使用を押さえることとした。冬季における効果は数字上でも現れた。

しかし一方で、夏期間については、猛暑であったこともあり、エアコン等の使用が増え、年間目標においては、削減状況：105.4%と目標達成をすることができなかった。

次年度においては、温度管理による適正なエアコンの使用をこころがけて目標達成がはかれるようにしていきたい。

車の二酸化炭素削減については、目標管理の方法を変えたが、ガソリン車では達成状況：-3.3%と思うような効果が発揮できていなかった。ミーティング等を通じて、目標達成の大切さなどを社員に理解させ、次年度で巻き返しをはかりたい。

ダンボールリサイクルは達成状況：28.5%と目標達成にはいたっていないが、分別収集のための意識付けという目的はある程度達成できているので、次年度は目標として採用するかどうかの検討をはかっていきたい。

全体としての評価としては、ペットボトルリサイクルやどの意識付けが定着するなど効果が出ている分野もあり、エコアクションをやる以前に比べると、全体としての底上げはできていると考える。

次年度に向けては、もう少し具体的な数値管理を行うなどして、目標達成にむけての社員の意識が高まるような工夫をおこなっていききたい。

## 6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### (1) 当社に適用される主な環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。また関係当局より違反等の指摘も過去5年間ありません。

No.	法律名	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬、処分は許可を受けた者が実施する。平成21年度より1年間集計し6月までに報告書を提出。	遵法
2	建設リサイクル法	発注者への計画等説明書（工事着手する日の7日前まで）と完了報告書。	遵法
3	建築基準法	確認申請書を提出して建築主事の確認を受け、確認済証の交付を受ける。	遵法
4	騒音規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
5	振動規制法	作業開始7日前までに特定建設作業届を各市町村に提出。	遵法
6	河川法	1日50m <sup>3</sup> 以上の汚水を河川に排水する場合は河川管理者に届出書提出	遵法

### (2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去5年間に1件も発生しておりません。

以上